

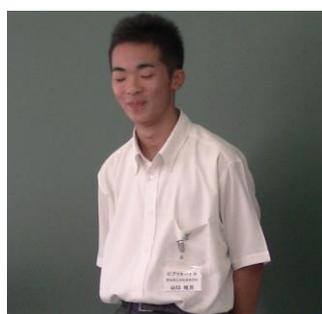
## 全国高等学校ビブリオバトル2016 東海大会が開かれました。

9月25日、相山女学園大学にて、全国高等学校ビブリオバトル2016 東海大会が開かれました。本校からは、学校祭の校内選考でチャンプとなった1年の山口唯月君が杏和代表として出場しました。昨年度と比べ参加校が増え、また発表の中身のレベルもぐっと上がりハイレベルな戦いでした。愛知・岐阜・三重・静岡の東海4県から集まった18名のバトルーは、話題となった本、新書的なもの、いろいろなタイプの本をそれぞれの感性で切り取り、熱いプレゼンばかりで、すべてが見ごたえ十分でした。バトルは、4～5人の各ブロックに分かれ、ブロックごとに1名のチャンプを決定の後、決勝戦という形式でした。山口君は健闘するも結果、予選通過とはなりませんでした。来年またやってみようかなという本人の言葉がたくましかったです。

ビブリオバトルとは、みなさんが思っている以上に気楽に楽しめる知的ゲームです。自分の好きな本でよいのです。その本から感じ取ったことを、日ごろの自分が感じていることや行動と照らし合わせて、言葉にしてみんなの前で表現する、これだけでまたいろいろな発見があるものです。最近、ビブリオバトルは各地で開催されており、何より近く校内にて、来年の学祭を待たず実施する予定もあります。これをご覧の皆さんも、新しい自分を発見するためにチャレンジしてみませんか？



メイン会場の様子



プレゼン中の山口君。紹介した本は、三浦しをん著『風が強く吹いている』でした。自分の陸上経験を踏まえ、いい表情でプレゼンしてくれました。

5分のプレゼンのあとは、2分間の質疑応答の時間。ビブリオバトルの特徴であるこの時間は、そのバトルーの人間性がもっともでるところでもあります。予想できない質問にも、素早く反応していました。かっこよかったですよ。

中身の濃い決勝戦でした。今年のチャンプは、右から2番目の三重県の男子。新年1月の全国大会へ出場となりました。来年チャンスがあれば、次はあなたの番です！

